

# しんぎよう

浄土真宗本願寺派（西本願寺）

## 真楽寺報

令和六年四月

世しよしちゆうちゆうかいせあみだぶつよくりよう  
是諸衆鳥皆是阿弥陀仏欲令  
ほうおんせんるへんげしよき  
法音宣流変化所作

「このもろもろの鳥は、皆これ阿  
弥陀仏の法音をして宣流せしめ  
んとおぼして変化してなしたもう  
ところなり」（『仏説阿弥陀経』）  
（『意訳真宗勤行集』九十八ページ）

先日、御門徒の御法事に出かけ  
た時のことです。

お勤めに『仏説阿弥陀経』を読  
んでいましたら、近くでうぐいすが  
鳴き始めました。お経の声につられ  
たのかと思うのは妄想でしょうか。  
私の方がいい声をしているぞ、と張  
り合うかのように頻りに鳴いていま  
した。

読んでいた阿弥陀経には「出和  
雅音（すいわげおん）」という言葉が  
あります。阿弥陀仏のお浄土には、  
白鶴、孔雀、鸚鵡、等の様々な  
鳥たちが、夜昼問わず、えもいわ  
れぬすばらしい声で鳴いていて、こ

離れていても、その声で、語り合っ  
ているようです。子が親を呼び、  
親が子を呼ぶ、あるいは様々な情  
報を交わし合っているのでしょうか。  
鳥たちの鳴き声は、歌を歌っている  
ように聞こえます。

人間の歌の起源は、大人が幼子  
をあやす声にあったと、「ゴリラ学  
者」の山極寿一さんが書いていまし  
た。およそ七百万年ほど前から二  
本の脚で立つ姿となって進化してき  
た人類が、言葉を使い始めたのは  
七万年から十万年くらい前である  
として、それ以前の感情伝達の仕  
方を論じています。人間は、直立  
二足歩行を始めたことによって、歌  
や踊りを手にいれたのだそうです。  
立ち上がることで頭部の形が変り、  
喉頭内の構造も変化することによっ  
て様々の声を出すことが出来るよう  
になり、足で立てば手を自由に動  
かして様々な表現が出来ることか  
ら、多様な音楽や踊りを発展させ  
たと考えられています。その中で言  
葉を使い始める前の歌詞のない音  
楽は、子どもをあやす声から始まっ  
たと推察されています。赤ちゃんを  
あやす時の、高い声で、変化の幅

が広く母音が長めに発音され、繰  
り返しが多いという声の調子は世  
界共通なのだそうです。なるほど、  
ドスのきいた声のおじさんも赤ん坊  
を抱く時は、あまり似合わない高  
い声で、意味のわからないペロペロ  
バー等という音声であやしていたり  
します。子どもに安心を与えた声  
の音楽は、やがて子どもだけでなく、  
人が互いの情感を伝える有効な手  
段になっていったのでしょうか。

さて、『仏説阿弥陀経』には、  
極楽浄土の姿が詳しく説かれた  
後、「阿弥陀仏を説くを聞いて名  
号を執持する」と、お念仏ひとつを  
行ずることが勧められます。お浄土  
の美しい大地などの姿や、音楽、  
香り、柔らかな風などの荘嚴は、  
私たち衆生にお念仏を称えさせて  
下さいます。念仏は、仏をほめた  
たえ、自らを懺悔し、浄土を願う  
声となります。それは、称える私  
ではなく、「必ず浄土に生まれさせ、  
さとりを開かせる。」と、私に念仏  
させておられる阿弥陀仏の側の功  
徳です。子が親を呼ぶ声が、実は  
親のはたらきがあつての声であるよ  
うに。

## ◎祠堂法事御案内

令和六年祠堂法事を左記の通りお勤めします。

真楽寺に御縁の全ての方々のご法事です。二十日は今年二月までの一年間に御往生された方のご家族を御案内しています。その他の方は二十一日にお詣り下さい。

感染症対策として時間短縮でお勤めし、お斎のご用意も致しません。ご了承ください。

### 記

期日 四月二十日(土)

～二十一日(日)

時間 午前九時半より勤行

※十六日の御命日法要・門徒会の後

三十分ほど本堂の清掃をします。

ご都合つかれる方は御加勢をお願ひします。

## ◎灌仏会

### 花まつりの御案内

四月八日はお釈迦様が御誕生なさいました日と伝えられています。

真楽寺では、四月七日(日)の午前九時半からの月例法座で、お釈迦様の誕生仏に甘茶をかけてお祝いのお勤めを致します。

どうぞお参り下さい。

## 親鸞聖人降誕会法要

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は一七三年五月二一日(承安三年四月一日)、京都の日野に御誕生になり、九十年の生涯をかけて、阿弥陀如来の御本願のはたらきを伝えて下さいました。降誕会は、この宗祖聖人のお徳を讃嘆し、真実のおみのりが伝えられた事を共に喜び合う法要です。

今年、五月十九日(日)、お正信偈のお勤め、御法話、そして、コンサートを楽しみます。御法話は真楽寺所属の僧侶の手勤めですが、その後のコンサートには、東京・築地本願寺での御教化に携わりながら、音楽活動もされている、「ナマングッズ」というグループをお招きしています。仏教讃歌等を、美しい声で歌って下さいませ。どうぞお誘い合わせてご参詣下さい。

### 記

期日 五月十九日(日)

日程 九時 受付

九時三十分 勤行

十時二十分 法話

十一時三十分

ナマングッズコンサート

十二時十分 閉会

## 真楽寺参拝旅行御案内

「隠れ念仏の里を訪ねて」

### 参加者募集中

一、期日 令和六年六月二十九日(土)

～三十日(日)

二、行程 二九日 真楽寺→本願寺

人吉別院→長崎鼻→

指宿温泉・白水館泊

三〇日 知覧観光→

本願寺鹿児島別院→

仙巖園→真楽寺

三、参加費 三五、〇〇〇円

四、申込み 五月五日(日)まで

※詳しくは真楽寺でお尋ね下さい。

## ◎今年の盆経について

今年の盆経は、昨年と同様の形でお勤めします。八月十三日から十五日はこの一年に御往生なされた方のご家庭に初盆のお勤めに参ります。

初盆以外の方でお詣りをご希望の場合は、八月一日から十二日までの期間でお勤めさせて頂きます。特にご希望があればそれ以外の日でもお参りします。七月十六日(火)までに真楽寺(五二一五〇一八)にご連絡下さい。

## ◎定例法座

(一月、八月を除く毎月)

### ◆月例法座

毎月第一日曜日

午前九時半より約二時間

### ◆家族礼拝

毎月第二日曜日

午前九時より約一時間

### ◆親鸞聖人御命日法要

毎月十六日

午前九時半～十時半

### ◆門徒会(御法義歓談会)

毎月十六日

御命日法要に引続き

### ◆聞信会

毎月第二土曜日

午後二時より

### ◆富の原真楽寺月例法座

毎月第三日曜日

午後二時より

## ◎お知らせ

四月の聞信会はお休みです。

大村市木場一丁目八五番地二  
真楽寺 電話五二一五〇一八

<https://www.shingyouji.com/>